

『骨密度と生活習慣の関連』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	<p>現在、日本は超高齢社会となりつつあります。骨粗鬆症の患者さんは1,590万人（男性410万人、女性1,180万人）がいると推定されています。</p> <p>骨粗鬆症による骨折は、寝たきりや死亡率の上昇につながるため、骨折予防は健康寿命延伸の観点からも重要な課題となっています。骨折の原因となる骨粗鬆症予防には、生活習慣やカルシウム摂取も重要な要素であると考えられています。</p> <p>本研究は骨密度と生活習慣、カルシウム摂取状況の関連性を調べる事により、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。</p>
研究の方法	東部病院及びかわさき整形外科・リウマチクリニックに通う骨粗鬆症の患者さんの問診票の回答から研究に使用する情報を抽出して統計解析を行います。
対象者	西暦2024年1月1日～2025年12月31日の間に、骨粗鬆症で当院に通院された方
利用する試料/情報	情報等：性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、日常生活習慣、骨折既往の有無、骨密度検査結果
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【研究代表機関】 済生会横浜市東部病院 林 綾野(研究代表者) 【既存試料・情報のみの提供を行う機関】 かわさき整形外科・リウマチクリニック病院 武田 勇樹(提供責任者)
試料/情報の院外提供	「該当なし」
結果公表	研究結果は日本リウマチ学会、WCO、日本骨粗鬆症学会、臨床リウマチ学会で報告予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年11月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 看護部 / 看護師 林 綾野
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 看護部 / 林 綾野